

コロナ19の危機及び医師団体の集団休診に関する対国民談話文

～（8月22日付保健福祉部報道資料(当館仮訳)）～

□ コロナ19中央災難安全対策本部第1次長の朴凌厚(パク・ヌンフ)保健福祉部長官です。

□ 現在、私たちは、コロナ19の全国的な大規模流行が始まる節目という、とても危険な状況に直面しています。

○ これまでの15日間、韓国国内の発生患者が1日100名を超えてから、わずが一週間で1日300名を突破しました。本日も感染者315名が確認され、感染者の増加は次第に加速化しています。

－ 感染者が約10名程度であった首都圏以外の地域も、昨日から患者の発生が1日70名を超えており、感染地域も広がり拡大傾向も増しています。

－ 特に、サラン第一教会や光復節の集会等を発生源とした2次、3次の連鎖感染が今週末から本格的に拡大することが見込まれます。一歩間違えると、本年3月の大邱(テグ)、慶尚北道のような大規模な流行が起こる危険性がこれまでになく高い状況にあります。

□ 国民の皆様！ 今は、私たち全ての生命と安全を守るために全ての社会の構成員が力を合わせて危機に対応しなければならない時です。

○ 現在の感染拡大の勢いを早期に押さえ込めなければ、大規模な流行へとつながるのです。

○ 今や私たちには、コロナ19の対応に集中することより重要なことはありません。

－ 政府は、これまでよりも、強い覚悟で、迅速かつ果敢な措置を通じて、国民の皆様とともに、今回の危機を乗り越える考えです。

□ 政府は防疫管理をさらに強化致します。明日(8月23日)から社会的距離の確保を、全国的に第2段階へ引き上げます。

○ 従来の第2段階の社会的距離の確保が適用されている首都圏以外の全ての市・道に対しても第2段階の措置が適用されます。

○ 具体的な措置は現在、首都圏で実施されている措置と同様です。

- 不特定多数が利用する施設のうち、危険度が高いクラブ、居酒屋、カラオケ等の12種類の高危険施設には集合禁止措置が実施されます。

- それ以外の飲食店、銭湯、結婚式場など、人々の利用が多い、不特定多数の利用する施設についても、マスク着用と電子立入名簿の運用などの核心的な防疫ルールの遵守を義務化致します。

- 屋内50名以上、屋外100名以上が集まる集合、イベント、会合についても集合禁止が実施されます。

- 学校は、集団感染が発生する地域は、遠隔授業へ移行して、その他の地域も密集度を下げよう勧告します。

- 室内国公立施設は運営を中止して、全てのスポーツイベントは無観客試合へ変更します。

○ ただし、患者発生数と集団感染事例が少なく、防疫の必要性が低い一部の自治体の場合、第2段階の社会的距離の確保の措置を「強制」よりは「勧告」の水準へと緩和して施行することとしています。

○ 全国的に強化された措置により、国民の皆様の日常と生活に、さらなる不便が生じることを十分承知しています。

- しかし、今、拡大の勢いを阻止できなければ、我々を待っているのは、さらに大きな危機だけです。

- 国民の皆様も、政府が認識する状況の厳しさを理解いただき、積極的に協力して下さるようお願い致します。

○ 今回の措置は、明日8月23日0時から実施され、各措置の行政措置と現場での準備に要する期間を猶予期間として設定することとなります。

- 詳細な内容は報道資料を参考にしてください。

○ 各自治体は、社会的距離の確保の第2段階引き上げ措置がうまく履行されるように徹底的にチェックし、地域別の状況に合わせて必要な防疫措置を積極的に実施するよう求めます。

□ **これとともに、全ての患者が適切な治療を受けられるよう、病床確保に総力を挙げて取り組みます。**

○ 現在、重症患者の治療病床と一般の入院病床、軽症患者のための生活治療センターの拡充に迅速に対応しています。

- まず、昨日から首都圏の緊急対応班を本格的に運用し始めました。

ソウル、京畿及び仁川の患者に対しては、各市・道が病床を割り当てるのではなく、中央(本部)が重症度に応じて適切な病床を総括的に配分しています。

- 首都圏における重病患者の治療病床は75床であり、現在、全国で、危険な状況や重症の患者が25名であるのに対して、病床の余はあるが、今後1週間内に30の病床を追加で確保して、迅速に重症患者の病床を拡充していく計画です。

- 軽症、無症状の患者のための生活治療センターを拡充し、明日開所する京畿道教育研修院を始めとして、来週までに計4か所を追加で開所する予定です。

○ 政府は、治療が必要な国民が適切な治療を受けられるよう、総力を結集し、安定的な治療体系を構築していきます。

□ **尊敬する医療関係者の皆さん！**

○ 今は、一触即発のコロナ19の大規模な感染拡大を防ぐために、医療業界と政府がさらに協力する時です。

□ 政府は、国民の生命と安全を守ることが最優先的な任務と考え、コロナ19の危機を安定化させるに、全ての力を注ぎたいと思います。

○ 医師団体が問題提起した医科大学の定員拡大と公共医科大学の新設については、首都圏のコロナ19の状況が安定してから、医療業界と協議していきます。

□ 医療関係者の皆様！ 危機克服に向けた政府の決断に意を共にして、国民のための本来の任務に従事してください。

○ 自らの診療現場を守ってください。 病院で、救急室で、重症患者室で、患者を治療して命を救うという医療関係者本来の役割に戻ってください。

○ もし、医療関係者が診療現場を守らない場合には、政府は必要に応じて様々な措置を執る考えです。

- 国民の生命と安全を保護することは、国民が政府に与えた最優先的な義務であり、政府はこれを厳格に履行していきます。

○ 当面の危機を乗り越えるため、政府とともに最善の努力を尽くすことを願っています。

□ 最後に国民に対してお願い申し上げます。

○ 我々は、本年2月と3月、大邱(テグ)、慶尚北道での拡散、そして5月のソウル梨泰院(イテウォン)のクラブを中心とした流行に続いて、再び深刻な危機的状況に直面しています。

○ 今回も同様、さまざまな経路で各地へ広がる感染拡大を押さえ込むためには、国民の皆様の協力と行動が何よりも必要です。

○ 心からお願い申し上げます。

○ 現在、いつでもどこでも、コロナ19に感染する可能性があるということを認識してください。全ての国民は、自分自身を、そして自身の家族や仲間を守るため、防疫管理に万全を期してください。

- 当分の間、不要不急の外出は控え、安全が確保された自宅にいてください。
 - やむを得ず外出したとしても、マスク着用など防疫ルールの遵守を徹底し、人々が集まる不特定多数が利用する施設への訪問を控えるようお願いします。
- 現在、とても危機な状況です。防疫当局の措置に協力願います。
- 診断検査の拒否や、指定された隔離場所を無断で離脱し、防疫要員に対して暴力を振るうなど、防疫措置を妨害するケースが発生しています。
 - 必要な防疫措置に応じない行為や、妨害する行為には、法律により容赦なく厳格に対応致します。
 - 皆様の生命と安全を守るために必要な措置という点で、国民の皆さんの理解と協力を願ひ致します。
- 今週末を節目に大規模な流行が発生するかどうかは、今後皆様が如何に協力して対処するかにかかっています。
- 国民の皆様は自身が防疫の最前線にいるという責任感を持ち、自身と家族を守るために最善の努力を尽くすことをお願いします。
 - 医療関係者の皆様も、自らの場所で、使命を全うすることを要請します。
 - 政府も国民の生命と安全を保護するため全ての努力を行います。
- 私たちは必ずやこの危機を乗り越えられます。ありがとうございます。

【原文URL】

http://www.mohw.go.kr/react/al/sal0301vw.jsp?PAR_MENU_ID=04&MENU_ID=0403&page=1&CONT_SEQ=359128